



東京都立立川学園 学校通信⑧

令和7年 11月 14日

立川だより

東京都立立川学園
校長 市川 裕二
東京都立川市栄町 1-15-7
電話 042-523-1358



立川祭への御参加ありがとうございました



今年は猛暑で、10月になっても、気温の高い日が続き、いつまで続くのだろうと思っていたところ、10月の下旬から、一気に気温が下がり、コートを取り出したりするなど、着用する服もいっぺんに代わりました。

さて、10月末に実施しました「立川祭」への御参加ありがとうございました。当日は、保護者の方、御家族の方、地域の方、卒業生の方など、多くの方に参加していただき、大変盛り上がった立川祭になりました。

立川祭の目的の一つは、「日ごろの学習の成果を発表する。」です。舞台発表や展示、ワークショップを通して、様々な学習の成果が発表されました。御参観の皆様からも大きな拍手が送られ、発表していた幼児・児童・生徒の大きな励みになったと思います。

もう一つの目的が、「各学部等の舞台発表、ワークショップや展示を見合うことで、お互いの理解を深める。」です。今年の立川祭では、校内発表も含めて、部門や学部を超えて、お互いの発表や展示を見合うことで、交流が深まったと考えております。特段、校内発表日は、学校間交流校である「立川市立南砂小学校」の児童の皆さんが、本当に多数来校してくれて、タッチ部門小学部のワークショップに参加してくれました。タッチ部門小学部の皆さんが考えてくれたデフリンピックやアメリカ手話に関するクイズに積極的に答えてくれたのが印象に残りました。また、タッチ部門高等部の販売について、やえ部門小学部・中学部の児童・生徒が購入をしたりするなどの交流も見られました。舞台発表では、タッチ部門高等部のダンス発表において、フロアで、観劇していたやえ部門小学部・中学部の児童・生徒を誘い、一緒にダンスを踊った場面が印象に残っております。タッチ部門高等部の生徒は、立川学園の最高学年にあたり、学園全体を一つにして、リードしてくれたことは、大変良かったと思います。今後も、こうした取り組みを通して、部門や学部も超えた交流が深まることを期待しています。

11月になり、めっきり寒くなりました。今年は、インフルエンザの流行が早く始まっていると報道されています。今年も、早いもので、後2ヶ月です、健康に留意してしっかりと学習を進めることに期待します。